



HOT TOPICS

ラーニング・ commonsの  
魅力について、  
梅花生が語ります!

## ラーニング・ commonsの今

OTHER CONTENTS

- ★BRA15について [Baika Reading Action15]
- ★梅花生の「図書館おすすめポイント」
- ★「中学生の職場体験記」



CHECK POINT

今回のBLTは梅花生が特集を企画しました!

ラーニング・ commonsについての対談や図書館のおすすめポイントなどの企画を担当してくれた梅花生のみなさん



文化表現学部 日本文化創造学科 3年生 石原 志都香さん



文化表現学部 日本文化創造学科 3年生 福井 めぐみさん



文化表現学部 日本文化創造学科 3年生 辰己 咲さん

2011年度 後期

## 図書館展示と講演会

図書館3階メインカウンター前の展示コーナーでは、年に数回展示を行っています。展示に関連した講演会も実施しています。貴重な資料、興味深いお話を見聞きできるチャンスです。みなさんの参加をお待ちしています!(いずれも無料です)

### 「食」文化 ～ことばと歴史～

展示期間 2011年10月10日(月)▶12月3日(土)

展示

平安時代の人々の〈食〉を知るための基本資料である『和名類聚抄(わみょうるいじゅうしよう)』の「飲食部」をはじめ、平安時代の文学作品の食べ物が登場する場面などから、興味深い話題をセレクトして展示し、平安時代の人々の豊かな〈食〉の世界を見ていただきます。また『日本の食文化史年表』(吉川弘文館)や『日本古代食事典』(東洋書林)など、手軽に当時の〈食〉を知ることができる参考図書も展示しますので、日本の〈食〉に関心のある人は、ぜひご覧ください。

展示

シェイクスピアのプライベートな生活については、手紙や日記の類がまったく残されていないため、食の傾向などの日常生活を知る手がかりはありません。となれば、外的証拠を丹念に調べることとなりますが、今回は料理や食材について言及されている箇所を、クォート版(四つ折り本)を中心にご紹介し、作品の中から劇作家の食に対するセンスを炙り出したいと思えます。

講演会

「探訪!!平安時代の飲食文化」 — けっこう豊か、1000年前の日本人の食生活 —  
開催日時 10月27日(木) 13:00▶14:30 [定員] 60名  
講師 梅花女子大学 文化表現学部 日本文化創造学科 教授 三木 雅博

平安時代の人々の飲食文化を知る一番の基本資料、それは源順(みなもの)の『和名類聚抄』[911-983]という文人が作った辞書『和名類聚抄』です。この辞書の「飲食部」から、当時の人々の〈食〉の様子をくわしく知ることができます。また、平安時代の文学には、しばしば食べ物が登場するので、そこからその食べ物についての情報を知ることができます。今回の講座では、これらの資料を使いながら、1000年前の人々の飲食文化について、興味深い話題を提供していきます。

講演会

「イギリス・ルネサンス期の食文化」 — シェイクスピアは美食家か? —  
開催日時 11月8日(火) 13:00▶14:30 [定員] 60名  
講師 梅花女子大学 文化表現学部 国際英語学科 教授 上村 幸弘

「シェイクスピアは美食家か?」と問うこと自体、少しばかり英文学を習ったことがある人には、すでに愚問であると見透かされていることでしょう。手紙や日記の類が全く残されていないため、シェイクスピアのプライベートな生活を知ることが、事実上、不可能と言わなければならない。しかし、作品自体や周辺の環境など、さまざまな外的証拠を手がかりに、劇作家シェイクスピアの食へのこだわりを考えてみようというのが本講座の狙いです。

※受講料無料・要事前申し込み(スクールバスでお越しの方に限ります)

今後のSCHEDULE

「所蔵資料展」(仮題)

- 【展示期間】  
◆2011年12月中旬  
～2012年2月上旬  
◆2012年4月上旬～5月上旬

2012年度 前期 講演会・展示

【講演会】  
「ファッションとインテリア」の世界

ライフスタイルによって、変化するファッションやインテリアをテーマにお話します。

- ◆2012年6月予定

【展示期間】

- ◆2012年5月中旬～7月中旬

## ラーニング・ commons 使ってる？

石原さん 「ラーニング・commons使ってる？」

福井さん 「うん。授業の空き時間とかに雑誌を読んでもよ。ソファがあって、明るくて快適だからお気に入りの場所なんだ！」

辰己さん 「雑誌の種類も豊富で楽しいよね。バックナンバーもあって本屋さんとかで読めないものも読めるし。かわいい雑誌が多くて私は嬉しい！」

石原さん 「そういえば雑誌の貸し出しも出来るんだよね？」

辰己さん 「そうだよ。最新号は一日だけだけど借りられるんだよ」

福井さん 「私はスポーツ系の雑誌も増えてくれたらもっと嬉しいなあ。図書館の人に言ってみようかな」

辰己さん 「それ良いね。図書館では私たちの要望も聞いてくれてるしね」

石原さん 「楽しみだね。もっと皆が楽しめる図書館になったら良いな」



福井さん 「辰己さんは？」

辰己さん 「私はスクールバスの待ち時間とかにパソコンでインターネットを使ってるよ。去年まではパソコンを使うのに図書館の許可が必要だったけど、今は自由に使えて便利！」

石原さん 「パソコンのスペースが横並びの机からオシャレな丸テーブルに変わったから、大勢で座れるようになって、友達と使いやすくなったよね」

辰己さん 「そうそう。開放的になったね！でもラーニング・commonsにあるパソコンにもワードとエクセルが入ったら良いなあ。辞書の所のパソコンみたいに調べたり相談しながらメモをしたいし、レポートの時にも使いたい！」

福井さん 「たしかに、そうなればラーニング・commonsの利用者が増えるかもしれないね」



## 話せる 図書館

石原さん 「そういえば、ラーニング・commonsを使って授業をやったことを覚えている？」

辰己さん 「覚えている！静かにしないといけない図書館で声を出して授業をするなんてちょっとびっくりしたよね。だって今までそんなことしたことなかったもん」

福井さん 「モニターなどを使って発表をする授業だったし、いつもの教室とは違った和やかな雰囲気が出て楽しかったね！」

辰己さん 「開放的で、みんなとも距離が近くて、いつもなら緊張しちゃうプレゼンの授業でも落ち着いて発表ができた気がするな」

石原さん 「図書館のモニターは大きくて見やすかったしね」

福井さん 「それに、プレゼンの後とかに気になったことがあれば、すぐに調べられたりしたのも良かったよ」

石原さん 「あと、1年生の必修授業のBAIKAセミナーで図書館見学をするときに使ったんだって」

福井さん 「私たちの時は立ったままで聞いたけど、今年はラーニング・commonsのソファに座れたみたいだよ。もらった資料も座った方が見やすいし、パソコンやモニターも実際に説明を聞きながら使えるから便利だろうな」

辰己さん 「そうだね。それだったら、図書館の良いところを伝えやすいし、学生も受けとめやすそうだし、一石二鳥だね！」

石原さん 「私は別のゼミでも使ったことあるよ」

辰己さん 「どうやって？」

石原さん 「フィールドワークの授業で奈良や大阪に行ったんだけど、現地のお寺や建物について本で調べたり、お店や資料館なんかをネットで調べたりしたんだ。みんなで意見を出し合いながらレジュメを作ることができて、とっても楽しい授業だったな！」

福井さん 「それは良いね。本やインターネットをすぐに使えるというのはやっぱり図書館で授業をするのに一番良いところだね」

辰己さん 「教室とラーニング・commonsでやるのとではこんなにも違うんだ。こういう授業がもっと増えたら嬉しいな！」

福井さん 「みんなにもラーニング・commonsを使ってほしいよね!!」

# commons の 今



2011年の2月にリニューアルして開設された「ラーニング・commons」。その活用法や感想などについて対談を行いました。  
※この対談・撮影は、2011年7月7日(木)の授業時に実施したものです。



# ライオンズ

## Baika Reading Action 15 略して BRA15

図書館では、4月から8月まで読書キャンペーンを実施していました。図書館の本を1冊借りるとスタンプが1個で、15個たまるとクリアファイル。さらに、本のコメントを3冊分書くと図書カードがもらえる企画でした。

### ★クリアファイルをゲットした学生さんのコメント★

「本を15冊も読むのは大変なことかなと思っていたけれど、登下校の間や授業の空き時間などに読んでみると、意外に短い期間で沢山の本を読むことが出来ました。またBRAのような企画が行われることがあれば、皆さんも本を借りて読んでみてください!『BRA15』で読まれたおすすめの本のコメントがラーニング・commonsだけでなく、学生会館や緑風館に掲示されていたり、図書館のホームページにも公開されています」



数多くの本のコメントが寄せられました!

オリジナルクリアファイル



図書カード

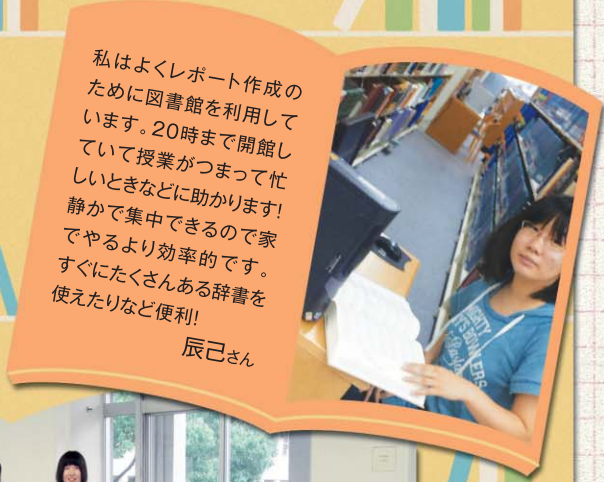
### 図書館の おすすめポイント★ 私たちからのコメント★



私は視聴覚室があるところが好きです!授業の空き時間に友達とDVDを見て過ごしたり出来るのでとても楽しいです。DVDの種類も豊富で観るものに迷ってしまいます!  
福井さん



私は本の種類が多いところが気に入っています。いろいろなジャンルの本が読めるし、新刊も早く入ってくるので、本が好きな人はいつまでもいられる場所だと思います!  
石原さん



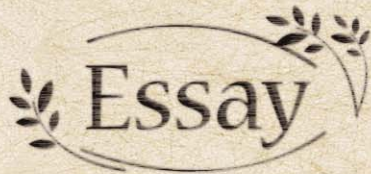
私はよくレポート作成のために図書館を利用しています。20時まで開館していて授業がつまって忙しいときなどに助かります!静かで集中できるので家でやるより効率的です。すぐにたくさんある辞書を使えたりなど便利!  
辰己さん

この特集は  
日本文化創造学科  
【日本語・日本文化を伝えるA】  
の授業メンバーの  
協力を得て作成しました。



ありがとう  
ございました!!





## 「探訪!!平安時代の飲食文化

—けっこう豊か、1000年前の日本人の食生活・・・展示にちなんで—

梅花女子大学 文化表現学部 日本文化創造学科  
教授 三木雅博

今から三、四百年前の江戸時代の人たちの飲食の場面は、テレビの時代劇や大河ドラマによく出てきますが、そこに登場する食べ物は、今私たちが「和食」として食べているものとそんなに大きな違いはないように見えますね。では、「源氏物語」『枕草子』が書かれ、紫式部や清少納言が生活していた、今から千年も前の平安時代の人々がどんな物を食べたり飲んだりしていたかを知ることができるのでしょうか?—とりあえず『源氏物語』や『枕草子』など当時の文学作品を読めばわかるのでは?—残念、確かにこうした文学作品には当時の人々の飲食の話題が少しは登場しますが、当時の貴族たちは食べたり飲んだりする場面をくわしく書くことは下品だと考えたので、飲食の様子が克明に描かれた作品や、食べ物が一々紹介されたような作品はほとんど見当たりません(中国の古典文学では飲食の場面や食べ物をくわしく描いたものも多いので、そのあたりは民族性の違いもあるかもしれませんね)。

では平安時代の人々の食生活をくわしく知ることは無理なのかというと、そうでもありません。教科書などにはほとんど出てこない書物で、あまり知られていないと思いますが、源順(みなもとのしたがう、911-983)という文人が作った、『和名類聚抄(わみょうるいじゅうしょう)』という辞書があります。この辞書は今で言えば一種の漢和辞典のようなもので、当時の様々な言葉を漢字で挙げて、その「和名(わみょう)」すなわち「日本語」を記したものです。この辞書は部門別に言葉を集めて編集されていますから、その「飲食部」を見ると、

当時の人々が食べたり飲んだりしていた品物がズラリと載せられていて、そこから当時の飲食文化をかなりくわしく知ることができるのです。また先に述べたように、数は余り多くないですが、文学作品に登場する食べ物も見逃せません。それらによると、平安時代の人々の飲食文化は、千年前とは思えないほど、バラエティーに富んでいます。刺身や寿司もありますし(今とまったく同じではないですが)、唐菓子(とうがし)と呼ばれたクッキーのようなおやつを食べ、夏にはかき氷に甘いシロップをかけて楽しんでいました。

今回の展示では、『和名類聚抄』の「飲食部」に出てくる食べ物や飲み物を紹介し、さらに物語や日記などに出てくる飲食の話題を絵巻なども使って展示し、平安時代の人々の飲食文化をのぞいてみます。またこうした原典だけではなく、もっと気軽に当時の食文化を知ることのできる図書、たとえば『日本の食文化史年表』(吉川弘文館)や『日本古代食事典』(東洋書林)なども紹介しています。時代が古くなり、今より娯楽が少なれば少ないほど、人々の食べることへの興味や執着は強かったと思いますが、千年前の日本人も、彼らなりに食の世界、食の文化を様々な形で追究していました。それまでにあった料理をさらに発展させ、新しい外国の料理や食材にもチャレンジし、今の私たちの食生活の基礎が形成されていったのです。そんな当時の人々の〈食〉への思いを、この展示から少しでも感じ取ってもらえたら、というのが私の思いです。

### BRA15に寄せられたコメント紹介

#### ★『地震・災害ボランティア活動入門：一人でもできる』

角田四郎著

東京：ぶきのとう書房、星雲社(発売)、2006.4(所在：2階 請求記号：369.31IT582)

東北地方太平洋沖地震が起きて、私もボランティアに行きたいと思いこの本を手に入れました。この本を読み、ボランティアの考え方が変わりました。「公の為に自ら考えて行動する。その対価を求めない」被災された方は、被災した人にしか分からない苦しみを抱えます。その環境にボランティアが行って怒られたり、暴れられたりする事に反発してはいけません。被災者のその行動は、前へ進む過程だから受止めるべきだという文章が印象的でした。そして、以前よりもボランティアに行きたいと思いました。

【現代人間学部 人間福祉学科 社会福祉専攻4年生 北友恵さん】

#### ★『神様、ボクをもとの世界に戻してください：高次脳機能障害になった息子・郷』

鈴木真弓著

東京：河出書房新社、2006.8(所在：2階 関病記 請求記号：492.9ISU96)

急に自分が障害者になってしまったら、おそらくそれを認めることができないだろう。特に、目に見えない障害だったら、他人にも自分から障害があることを言わなければいけません。高次脳機能障害とは、人によって症状は違い、記憶力が悪くなったり、イライラしやすくなったり、今までしていたことができなくなってしまうことです。作者の息子である郷さんも高次脳機能障害者です。でも今は、障害と向き合いながら仕事をしています。どんなに変わってしまったも息子だから、家族だから、諦めないで病氣と闘い続けた家族の姿に感動し、家族の強さをとても強く感じました。

【看護学部 看護学科1年生 園田愛永さん】

#### ★『白鳥の湖』

ビョートル・チャイコフスキー 原作 / リスペート・ツヴェルガー 文・絵 / 池田香代子訳

東京：フロンズ新社、2009.6(所在：4階 絵本 請求記号：絵本I29)



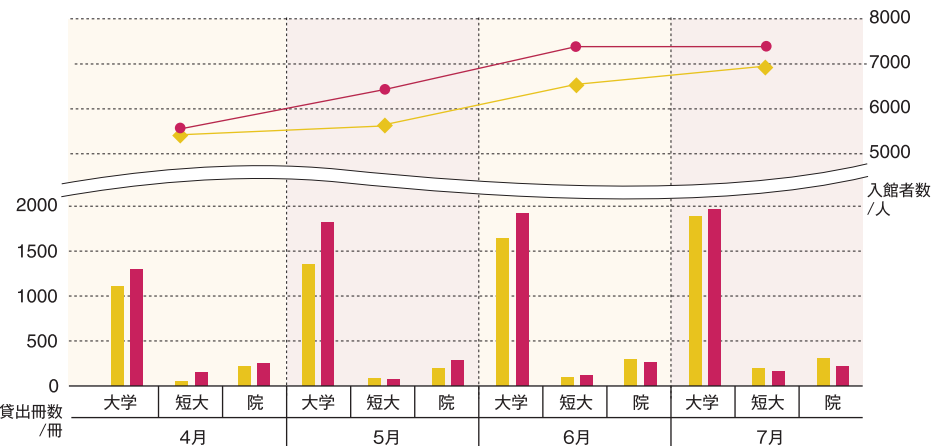
図書館のオススメのコーナーに置いてあった絵本で、白鳥の湖の物語を読んだことがなかったので手に取りました。絵がすごくキレイで、ひきこまれるものがありました。バレエの曲で使われる白鳥の湖はよく知っていますが、この物語はロミオとジュリエットのように身分の違う恋の話とは知りませんでした。でも、最後はハッピーエンドに終わるので、まだこの物語を読んだことがない方は、絵と合わせて読んでみてほしいです。

【現代人間学部 心理学科3年生 田中杏奈さん】

### BRA15効果による貸出冊数・入館者数の推移

今年の4月から実施した「BRA15」(詳しくは中面記事をご参照ください)。この読書キャンペーン効果による貸出冊数と入館者数の推移を昨年度と比較しました。

■ 2011年度貸出冊数 ■ 2011年度入館者数  
■ 2010年度貸出冊数 ■ 2010年度入館者数



### 中学生 職場体験記

豊中市立第十六中学校から2名の生徒さんが本学図書館で職場体験を行いました。

生徒さんのコメント  
図書館って、かたい空気が流れていると、私は勝手に想像してたんですが、司書の人達は、すごく優しくて、親切な方で、すごく和んで職業体験を受けさせてもらうことができました。ありがとうございました!今回学んだことを、将来にいかしていきたいとおもいます。



実習日  
2011.7.5~7.7

### 梅花女子大学図書館

〈月～金〉8:50～20:00  
〈土〉8:50～16:00

〒567-8578

大阪府茨木市宿久庄2-19-5

#### 【図書館】

tel 072-643-8498

fax 072-643-1952

e-mail blibrary@baika.ac.jp

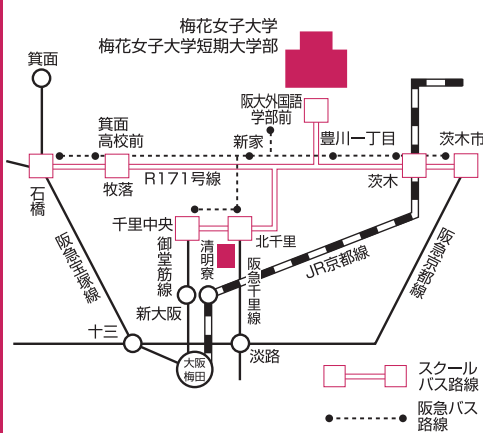
#### 【学園資料室】

tel 072-643-8447

fax 072-643-1952

e-mail shiryo@baika.ac.jp

#### 【交通路線図】



### よもやま ●BLT(ビーエルティ)23号をお届けします。●今回は、はじめての試みとして梅花生に特集記事を担当していただきました。担当の方々には、企画の打合せなどを重ねての紙面づくり、試験中にもかかわらず、意欲的に取り組んでいただきありがとうございました。おかげさまで、フレッシュな紙面となりました。今後も、学生のみなさんが活躍・成果発表できる場を提供していきたいと思ひます。

●三木先生から「探訪!!平安時代の飲食文化」と題して、1000年前の日本人の食文化について興味深いEssayをいただき、ありがとうございました。三木先生と上村先生には展示と講演会をおこなっていただきます。みなさんもぜひご参加いただき、当時の日本の食文化と西洋の食文化の違いなどに触れてみてください。●梅花生のみなさん、BRA15への参加、また、多数のコメント提出、ありがとうございました。今後もみなさんが図書館に興味をもち、大学生活に役立つような企画を提供し続けます。●24号の発行は2012年4月を予定しています。ご期待ください。

●梅花生のみなさん、BRA15への参加、また、多数のコメント提出、ありがとうございました。今後もみなさんが図書館に興味をもち、大学生活に役立つような企画を提供し続けます。●24号の発行は2012年4月を予定しています。ご期待ください。

#### 学外の方へ

本学図書館は、高校生以上の女性の方に公開しています。大学や研究機関に所属されている方は、男女を問わず、所属機関の紹介状が必要です。これらに該当されない方は、お問合せください。いずれの方も来館される前にご連絡ください。